

# 2025 年度日本沿岸域学会講習会

## テーマ 「ブルーカーボンは今後どのように進化するか」

日 時 : 2025 年 9 月 18 日(木)14:00~17:00

会 場 : 日本大学駿河台校舎 1 号館(121 会議室)+ オンライン(ZOOM) ハイブリッド形式  
意見交換会(1 号館 2 階カフェテリア) 17:10~18:40

参 加 費 : 正会員 3,000 円、学生会員 1,000 円、非会員((一般)4,000 円 (学生)2,000 円)

意見交換会 : お 1 人様 3,000 円 ※別途お申込みください。意見交換会締切 9/11 17:00 迄

定 員 : 会場 100 名 / オンライン 100 名

お申込方法 : 日本沿岸域学会 HP からお申込みいただけます。

HP: <https://www.jaczs.com/> ※締切 9/11 17:00 迄

### 【講習会の目的】

日本政府の温暖化対策計画が昨年度末に改定され、ブルーカーボンを活用した大気中 CO<sub>2</sub> の吸収量として 2035 年までに 100 万トン/年、2040 年までに 200 万トン/年を目指すことになりました。ブルーカーボンに多くの期待が高まる一方、我が国が国連に報告しているブルーカーボン生態系による CO<sub>2</sub> 吸収量は 34 万トン/年にとどまっており、将来に向けてより一層吸収量を増やしていく必要があります。一方、海洋における CO<sub>2</sub> 吸収ポテンシャルは大きく、ブルーカーボン科学・技術・政策・実装の今後の進化や発展次第では、目標を大きく上回る吸収も見込めます。本講習会では、ブルーカーボンの将来がどのような展開を見せるのか、夢に満ちた話題を産官学さまざまな立場の講演者からいただきます。

### 【講習会プログラム】

14:00-14:05 開会あいさつ 趣旨説明

企画運営委員 桑江朝比呂(港湾空港技術研究所 沿岸環境研究領域長)

#### 講演

14:05-14:35 『ブルーインフラ、インベントリ、クレジット、温対計画』

講師:花田祥一(国土交通省港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室長)

14:35-15:05 『インベントリの算出方法』

講師:茂木博匡(港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ 主任研究官)

15:05-15:35 『瀬戸内海復権プロジェクト:アート、水産とのコラボ』

講師:末永慶寛(香川大学 創造工学部 教授・学部長)

#### 《休憩》

15:55-16:25 『デジタルツイン化』

講師:境克司(富士通コンバージングテクノロジー研究所 グリーンイノベーション CPJ  
シニアリサーチマネージャー)

16:25-16:55 『下水道ブルーカーボン』

講師:圓佛伊智朗(日立研究所 環境・エネルギーイノベーションセンタ)

16:55-17:00 閉会あいさつ

企画運営副委員長:北澤 大輔(東京大学 生産技術研究所 教授)

土木学会  
認定 CPD  
プログラム

